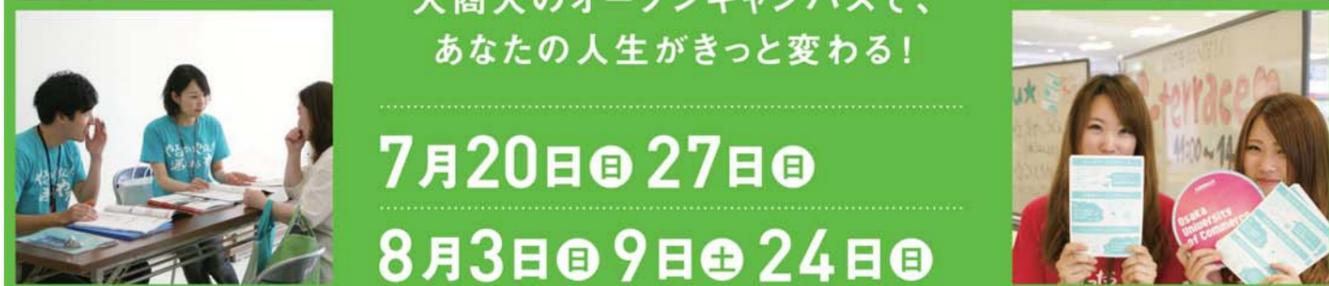


校友

【かんばる!校友】
練習は精神の安定
【15支部便り】
全国で交流の輪広がる



OPEN CAMPUS 2014

参加申込
不要!

遠方からお越しの方へ
無料宿泊
サービス実施!

大商大のオープンキャンパスで、
あなたの人生がきっと変わる!

7月20日① 27日①
8月3日① 9日② 24日①
9月14日①

開催時間 10:00~15:00 (受付) 9:30~

●推薦入試直前オープンキャンパス 9月28日①





15号の発刊にあたって

校友会 会長
高岸 暎治

全国の校友、同窓生の皆様、お元気にお過ごしですか。3月の学位記授与式が終了し、新たな卒業生達を校友会にお迎え致しました。

4月には、1,200名余の新入生が『世に役立つ人物の養成』を学ぶために校門を踏みしめました。開学1928年、1952年より大阪商業大学になり、今日まで校友会の歴史を刻んでまいりました。日本の大学進学率は50%を越え、少子高齢化現象による入学志望人員の減少も各大学の真剣な各種レベルアップ活動に拍車をかけております。

日本で唯一、大学に商業という名のついた専門大学は、大阪商業大学だけです。商都 大阪で商業を学ぶ意義は大きな誇りです。優れた専門性のある大学は、世の中に必要とされる時代です。この優位性をますます向上させるために、真剣に諸課題に取り組んでおられる大学と共に我々卒業生も緊密に連携を深めてまいります。

2009年、60周年記念事業として始まった、大阪商業大学公開講座、『地域社会と中小企業』校友会寄附講座も6年間で18名の卒業生に講師をお願い致しました。2015年度以降の講師3名も募集中です。他薦、自薦にてご応募下さい。(校友会本部まで)

大学の恒例行事、10月の御厨祭に校友会も参加し、各地の校友会支部地域特産品を廉価にて販売いたしております。支部の無い地域の皆様も良い特産品がございましたら、校友会本部にお知らせください。

今年も、大学より校友顕彰者として、石川県 廣澤郁夫様が顕彰を受けられました。大学の校庭も美しい緑色の人工芝が完成、かまぼこ型旧体育館、多目的屋内競技場にも人工芝が敷設され、今後益々の商大スポーツ発展が望まれます。

昨年は、硬式野球部が関西六大学 優勝、関西地区大学選手権も制覇し、31年振りに明治神宮大会出場を果たし、全国でベスト4に登りつめました。野球以外の各スポーツクラブも日々奮闘して、実績をあげております。文化系の各クラブ、フィールドワーク活動、ボランティア活動等にいそむ学生達に対して、校友の皆様のご支援をお願い致します。

校友会支部も15支部になりましたが、今後各地域に支部が創設され、益々活性化されるようご支部創りに協力下さい。職域支部も学校の先生方が集う兵庫御厨会がありますが、今後職域や職種等による支部も考えられますので、校友会本部までお尋ねください。

色々な同窓生の交流が進み、大学と共に今後ともおおいに大阪商業大学の名を高めてまいりましょう。心より皆様のご健康を祈念いたします。



ご挨拶

大阪商業大学 理事長・学長
谷岡 一郎

校友の皆様、如何お過ごしでしょうか。元気が取り柄の私(谷岡)は、日々新しいことを探して楽しんでいます。大阪商業大学は、今年も1,200余名の新入生を迎えました。定員の1.2倍以上ですが、これ以上だと当局からお叱りが予想される人数ギリギリになります。大学院も順調です。

ハード面ではグラウンドの人工芝化と旧体育館の改修が終わりまりました。人工とは言え、緑色が多いのは気持ちイイものですね。いかに人間が外見に左右されるかということでしょう。心なしか、グラウンドで体を動かす人数が増えたように思えます。

ソフト面でも、新学部、学科・コースなどの検討を開始しました。特に来年の一年生に向けた広報には、グローバル化に対応する新プログラム、GET(Global Entrepreneurship Training)コースが加わりませんが、これは一年生の授業から積極的に英語を訓練し、二次には留学して現地で単位を修得し、三年、四年でフォローするという、我が校として極めて野心的なものとなっています。

実は最近、その関係で台湾に行っておりました。我々の規模、分野、レベルに合った大学3校と協定を結びましたが、他にアメリカやメキシコの大学ともすでに提携しています。正直言います、日本だけがグローバル視点を忘れていたような状況で、お上に言われるまでもなく、ずっと考えてきた実質的な内容なのですが、優れたプログラムだと自負しています。乞うご期待。

ご存知かもしれませんが、ハウス食品のあった隣地の大半を取得できましたので、こちらも具体計画を始める予定です。また大阪・梅田(グランフロント大阪)にもサテライトを2014年5月に開設致しました。大阪商業大学だけが使用するのではなく、学園全体で活用する予定ですが、校友の皆様もいろいろと考えてみてください。喜んでお貸しいたします。

校友の皆様の発展をお祈りしています。



●表紙/人工芝第一グラウンド

平成26年度 校友会本部便り

平成26年度理事会において、今年度の事業計画等が決定いたしました。尚、今後の詳細につきましては随時ホームページにてお知らせいたしますのでご覧ください。



平成26年度

4月 2日:大阪商業大学 入学式出席
17日:「寄附講座①」開催
24日:「寄附講座②」開催
26日:平成26年度 第1回 常任理事会を開催



5月 8日:「寄附講座③」開催
16日:兵庫御厨会全体会
25日:広島県支部総会開催

6月 7日:高知県支部総会、福井県支部総会
14日:平成26年度第1回理事会開催
校友会会報「校友」第15号発刊
15日:愛媛県支部総会
28日:関東支部全体会、愛知支部総会
富山県支部総会

7月

8月 30日・31日:全国御厨会開催

9月 9月~10月:滋賀県支部総会
大阪商業大学前期学位記授与式出席

10月 24日~26日:大阪商業大学大学祭
「第63回御厨祭」25日・26日校友会出店
(各支部の名産品)参加



11月 3日:岡山県支部総会
15日:石川県支部総会
大阪商業大学顕彰式典(開催予定)出席

平成27年

2月 2月:京都府支部総会

3月 25日:大阪商業大学学位記授与式出席

平成26年 4月~平成27年 3月 校友会館への宿泊等の貸出し

第63回大学祭実行委員会より 大学祭へのご案内

第63回御厨祭実行委員長 原田 俊一



先輩!「御厨祭」へ来てください!

10/24▶26
(金曜) (日曜)

はじめまして。第63回大学祭実行委員会実行委員長の原田俊一です。

昨年の大学祭は季節の変わり目だったため台風の影響をうけましたが、当日は天候にも若干恵まれ大学祭実行委員、来場者の方々、教職員の方々のご協力もあり素晴らしい大学祭が行えました。毎年行っているファイナルコンサートのチケットも学内・学外共に売れ筋も良く来場者の方々にも大変楽しんでいただけたのではないかと思います。

さて、今年も昨年までと同様、学友会本部・文化会本部・体育会本部・放送局の4団体が協力し御厨祭の運営に全力で取り組んでいます。昨年まで先輩方が継続してきたものを実行委員全員、大切にしていける御厨祭をより良いものにしていきます。

今年の御厨祭のテーマは「It's now or never」です。「It's now or never」には「~やるなら今しかない~」という意味があります。今まで先輩方がその年その年で様々な色を出し続けてきた御厨祭があった上での大学祭でもあります。

スタッフの数も年々増えて大学祭の規模が大きくなる中で、伝統を引き継いでいけるだけではなく新たなことにも積極的に挑戦する姿勢を持ち、今できることに全力で挑戦していきたいという思いがあります。スタッフ一人ひとりが自分の思いを込め、自由な発想で他大学にはない大阪商業大学独自の大学祭を作り上げていきたいと考えている所存です。今年も本学の学生や校友会の先輩方、地域の皆様に3日間全てに趣向を凝らし楽しんで頂ける大学祭を創り上げていくので是非遊びに来て下さい。



母校へGO!

お問い合わせは大学祭実行委員会まで Tel: 06-6781-8367

「ご利用割引制度」について 校友会からのお知らせ …… U・コミュニティホテル宿泊 30%OFF割引制度

大学行事参加等によりU・コミュニティホテルをご利用される場合「**谷岡学園特別優待補助券**」お持ちの方に**30%の割引制度**があります。ご利用の際には校友会本部(06-6782-7243)までお申し出下さい。補助券を送付いたします。 ※ご利用のみとさせていただきます。

「練習は精神の安定」

大商大硬式野球部 監督 富山 陽一さん(昭和62年卒)

大商大硬式野球部の監督に就任して4年。
ゴミを拾うところから始めた厳しい指導で、21年ぶりに昨年の秋季リーグを制覇。
そして、31年ぶりに神宮(明治神宮大会)でベスト4に導くなど、
大きな変革を成し遂げた若き監督に、その秘訣を聞いた。



【初めての指導はゴミ拾いから】

「僕としては、自分が最初に見始めた選手が4回生になって節目の年で。(秋季リーグは)まさか優勝とは思いませんでしたけど、いい結果というか、一年一年の積み重ねで何とか結果は出せたかなと思います。」

監督に就任して5年目の春。そこには初々しい姿はなく、堂々とした富山監督の姿があった。

「就任当時、挨拶はダラダラ、ユニフォームはバラバラ、グラウンドも荒れ放題で。」

学生の本分はもちろん勉強。そして、部活動を通じて学ぶべきことはたくさんある。しかし、当時の大商大野球部は、富山監督が満足できる環境ではなかった。

「無い無いづくしというよりは、乱れてましたね。」

設備もある。優秀な選手もいる。それでも監督は、初めの一歩からこだわった。

「一から、基本的なところからやり直しというか、まず、そこから始めました。見るたびに注意・指導をする。それが自然に、当たり前になるようになるまでに何年掛かるのかと思いましたね。」

野球の技術的な指導よりもマナーや整理整頓、礼儀作法に熱が入る。心技体の中でも心の成長が大きな鍵を占めると。「僕はね、それが野球だと思ってるんですよ。他のスポーツでも空手の道場とか絶対キレイだと思うし、そういう土壌がある。それと一緒にグラウンドはたまたま舞台が広いだけで、隅々までというところが難しいんですけども、あえてそこをやる。落ちていくゴミを拾わなければたまっていくわけですから、そういうところを徹底して。それこそ『一日ゴミを3つ拾え』とかね。」

【富山流の「徹底」指導】

「徹底してやります。ですので、ゴミを拾うのが当たり前、クツを揃えるのが当たり前、トイレをキレイにするのも当たり前と。どんどん続けて行って。出来なかったら練習禁止です。1回生だけじゃないですよ、4回生まで全員がです。」

野球が大好きで、野球をするために集まった部員に練習をさせないことは、ある意味どんな罰よりもつらい。そして監督の指導は徐々に野球の本質へとつながっていく。

「あと野球への取り組みとして、絶対にや

らなければならないことと、やってはいけないことを徹底して教えています。例えば、自分のチームが点を取るまでは、絶対に点を取られないとか。(笑) 当たり前すぎるその教えは、一見滑稽にも感じる。しかし、監督の話を聞いていくうちに、その真意に気付かされる。

「先頭バッターは絶対に三振しないと。これを言うとみんな笑うんですけど、すごく大切なんです。そういう、してはいけない事がそれこそ山のようにあるんですよ。それを常にミーティングでやって、浸透させて。おかげで今では私が入っていきますから。話が。そういうところだと思いますよ。みんなが同じ方向を向いているということは。」

ゴミを拾い、靴を揃える。一見野球に関係がなく、それも自分の為ではなく、周りの人への配慮だ。しかし、その先には、ピッチャーは打たれないように投げる、それでも打たれたら守備が守る。バッターはチームのためにヒットを放つ。監督の指導は、仲間の事を思いやる「チームワーク」が軸となっているように思えた。

しかし、そんな指導は正直、現代っ子に



は嫌われるやり方だ。褒めて伸ばす方向もあるのではないかと。わざわざ嫌われることになるのではないかと。

「僕は基本的に褒めないんです。普段から僕は、切ることが仕事だと言ってるんです。残酷ですけど、毎試合選ばれるのは部員100人中25人だけなんです。だから褒めないんです。ハッキリと言います。私が褒めて、最終的に切られた選手はどう思います?まあ、他の方は褒めますよ。(笑)嫌われたくないから。」

先ほど私は、褒めるやり方もあるのではないかと考えていたが、ここにきてハッとさせられる。確かに褒めることも大切だが、それと同じように厳しさも大切なのではないかと。

「練習に必死じゃないからダメ、ゴミを拾わないからダメ、服装が乱れているからダメ、と切っていきます。」

【監督という立場への思い】

改めて監督就任時の気持ち、意気込みを尋ねた。

「やっぱり、大商大の硬式野球部の監督は名誉です。何にも代えられない誇りなんです。OB会からも推薦をしていただいた。そういうプレッシャーをバネにして、任されたからにはやったか!と。そうでなかったら出来ませんよ。ホント楽しいですよ。」

「監督をさせて頂く前は少年野球を13年間指導していました。指導していたのは主に中学生達だったんですけど、当時の私の大きな目標は、その子達を野球名門高校や自分が出た太成学院大学高校に行かせたりとかして、そして大商大に帰って来させたかったんです。そういう流れを作りたかった。ところが実際にはそれが難しく。」

やはり、指導者や保護者の立場としては、優秀な選手は有名どころに行かせた



という気持ちが強いだろう。ましてや、就任時の大商大は名門であっても強豪ではない。しかし、監督の思いは決してブレない。

「センスのいい子がいたら必ず大商大へ送ろうとね。例えば今の金子君(4回生)や橋爪君(中田・育成選手)とか。みんな僕の教え子なんです。」

満足そうに語る若き監督。まだ大商大の監督ではない、なれるかどうか分からない10年以上も前から、一生懸命に少年たちを育て、大商大へと導いていたのだ。それも結果として自身が監督という立場で。まさに有言実行、何とも粋なことではないか。

【野球の世界も社会も同じ、競争社会】

話を戻して今春、新たなチームは、初戦を見事に勝利していた。

「今回は1回生を4人使いました。デビュー戦で緊張の中よくやってくれたと思います。」

1回生を積極的に使う。これは富山監督が就任してから一貫して行っているやり方だ。実力や伸びしろのあるものを使う。これは正しいことだが、同時に他の部員の反発も招く。

「正直なところ負けているんですよ、上級生が。声が出ているとかそんなことではなくて。やっぱり選ばれる9人はごまかしがきかない。年齢とか関係なく。そこは純粋に実力で。」

富山監督はそんなドライさをあえて見せて、上級生も発奮させていた。

「競争の厳しさは教えます。たとえば、試合に出られない控えメンバーはロッカールームで待機することが多い。たまたま中をのぞくと、携帯電話をいじってる。たしかに控えメンバーがロッカールームにいるのは正しい。しかし、そこにいて相手の観察ができますか?クセや長所などが



わかりますか?試合の流れは?レギュラーつかむ子はやってるんです、応援しながらちゃんとね。言い方は悪いですけど盗るやつは盗るんです。この世界では盗られる方が悪いと。そういう姿勢でないとダメです。」

競争社会においても大切なこと、それは準備だ。準備もなく成功するものなど一人もいない。本番に備えて、いかに多くの準備をしているかが勝利への第一歩となる。

「この子たちは将来どういう形であれ、いずれ社会に旅立ちます。その時に私の教えたことが少しでも役に立てば。」

【取材を終えて】

就任してからわずか4年で野球部を生まれ変わらせた富山監督は、現在の大学監督には珍しい鬼軍曹タイプだが、細やかな配慮と目配り、気配り。「いいことばかりを言う人は多いですが、監督は常に厳しい言葉をかけてくれる」「監督が一番怖い人ですし、一番厳しい人ですが、一番優しい人」と語る選手は多いという。勝利への執念、闘争心、そして富山監督の求心力こそが、硬式野球部躍進の原動力とみた。





スポーツを通じて、 大学と校友が地域の子供たちを活性化!

愛知支部は、平成20年4月に設立、今春で7年目を迎えました。日本のビジネスの中心地である名古屋を抱える土地柄か、皆さん愛知県、そして母校に対する熱い議論を交わしていただきました。校友会本部からは宇野幸三副会長と、竹内行弘理事・編集委員が聞き手として出席しました。

■愛知支部の成り立ち

杜下: そもそもは平成19年に谷岡郁子至学館大学理事長・学長(谷岡学園姉妹校)を囲み、懇意にされていた愛知近郊の卒業生が集まったのがきっかけです。故川村さん(前愛知支部長)が中心となって、11月に私にお声がかかり、世話人会という形で始まり、12月には発足準備会と、とんとんと事が運び、翌20年の4月に支部が設立されました。始まりは確かに『囲み、懇意に思う会』という形ではありましたが、川村さんは、もともと愛知県になかった校友会に非常に関心を持たれておりました。今思えばそういうきっかけが必要だったのかもしれない。

■今後の活動について

石原: 愛知支部としましては、他の支部との交流ももちろんですが、いかに会員を増やすかということが現在の一番の課題ではないでしょうか。欲を言えば、活動していただける方を、2倍には

したいと思っております。この会の魅力を発信し続けていけば、1人でも2人でも増えていくのではないかと思いますね。

田中: 今、支部長が言われましたように、総会を開催しても、お見えになるメンバーが毎回同じ顔ぶれであったり。前年度もやはり初めてゴルフコンペを開催しましたが、一部、新しいお顔は拝見しましたものの、やはり似た顔ぶれであったり。なるべく他の皆さんにもお声掛けはさせていただいてるんですけど、そこがやはり懸案事項ではないかと。これからも継続して努力と言いますか、汗をかいていかなければならない、と思っています。

日高: 大商大は体育会系クラブが強かったじゃないですか。その過去の実績がいま、愛知支部の財産になっていまして。バスケットボールのメンバーも多いですし、あとバレーボール、サッカーもですね。こちらにいらっしゃる大森さんは、お住まいは岐阜なんですけど

れども、お勤めは名古屋ですので愛知支部の活動に来ていただけてますし、岐阜県の方にもお声掛けしてもらってるんですけども、なかなか増えない。やはりクラブ活動の力を利用して何とか広げていきたいと取り組んでおります。もっとも、まだまだ実績は伴っていませんが。(笑)

石原: 我々があきらめずにやり続けなければならぬとね。

日高: 以前、宇野副会長にもお聞きしたんですけども、大学は現在、体育会系クラブの強化に力を入れていらっしゃる。今回の、硬式野球がそうですね。31年ぶりに神宮へ行った。そういった活躍が効いてくるんですね。母校ということで大商大が全国の新聞に載ったり、プロ野球でもドラフトで中日に2名入ったりと、やはり大学の成長というか、そういったものが母校のイメージにも大きく影響してくるだろうと。

福森: 一例を上げれば愛知県では、中京大学。そういうイメージ戦略がうまくてね、一流のアスリート、例えば浅田真央さん(フィギュアスケート)や室伏広治さん(ハンマー投げ)などが入ってきて、さらにイメージが良くなった。

大変失礼な言い方ですけども、私が思うに中京大学の卒業生のイメージが昔と今では、もう天と地ほどの差が出ているわけですよ。そのあたりも本部と連携しながら良くなっていけばと思いますね。

石原: 現役学生との交流もそうですが、校友会の活動を、いい意味でどこまでアピールしていくかを考えた時に、若

い卒業生にどんどん入っていただけるような魅力ある会にしていけないと。じゃあ、“魅力ある会ってなんなの?”という、卒業生とのつながりだけではなく、もうひと工夫が必要だと思っています。

正直、なかなか見つからなくて苦労しているんですけども、それが経済的な結びつきなのかどうかも含めて、キーワードではないかと思っています。

大森: 現役の学生や卒業する学生が、校友会があるということを知っていたとしても、実際の活用方法がわからないんじゃないかな。

例えば愛知県の卒業生が勤める会社に訪問したい、となった時に、大学側からこちら(支部)に声を掛けていただく。そうならば、私の場合は喜んでお手伝いします。そうやって関わりあった学生達は進んで校友会に入るんじゃないでしょうか。

日高: 転勤や引っ越しをされる方が多いからではないでしょうか。その場合は卒業時と現住所が異なり、卒業名簿等での活用が難しくなる。実際にいま、このメンバーでも愛知県出身の方は福森さんお一人なんですから。

宇野: 個人情報の取り扱いが厳しくなったことも要因でしょうか。個人の自主的な申告がない限りは、こちらでも情報がつかめません。ひとまず、今後の参考にさせていただきます。

■スポーツの力で校友、地域、そして大商大の活性化を!

田中: 以前はバスケットボールやバレーボールなどは、私の在学中は関西では勝つのが当たり前のような時代で。合宿でしごかれ、楽しいことも辛いこともたくさん経験しました。

卒業後に大商大を出たという、バリバリの体育会系ということでびっくりされる。でも礼儀やしつけの面であそこは凄い、と褒められたものです。

大島: そうでしたね。あの時は熱かった。(笑)しかし年を経るごとに合宿場が

愛知支部出席者



愛知支部 支部長
石原 孝行
(昭和48年卒)



愛知支部 副支部長
日高 克毅
(昭和55年卒)



愛知支部 副支部長
田中 俊行
(昭和56年卒)



愛知支部 幹事
福森 繁明
(昭和59年卒)



愛知支部 幹事
大島 蘇一郎
(昭和40年卒)



愛知支部 幹事
大森 龍蔵
(昭和57年卒)



愛知支部 常任幹事
(事務局担当)
杜下 憲央
(平成元年卒)

校友会本部出席者



副会長
宇野 幸三



理事・編集委員
竹内 行弘

なくなり、監督も代わって卒業生との結びつきも当時より薄まった感じがしますね。一時は全国大会などでも大商大の卒業生をゴロゴロ見たものです。しかし、今は当時より減っているような気がしますね。

田中: 私は今も地元でバスケットボールの指導をしていますが、当時の大商大のような熱気は感じられないですね。意志の疎通でしょうか、やはりクラブの取り組みを強化することで現役学生や卒業生とのつながりができるのではないのでしょうか??

宇野: 体育会系クラブに関しては、大学側も強化を積極的に考えています。皆さんご存知の通り、まずは硬式野球をはじめ、実になりつつありますから、随時、次の種目と言いますか、強化対象のクラブを広げていくと聞いています。

田中: この愛知支部管内には、ウェイトリフティング、サッカー、バスケットボール、バレーボールなどの優秀な選手であった方や指導者の方がたくさんいらっしゃる。そういった方々の力も借りて、スポーツに特化したNPO法人を作るのはどうかと。そこでまずは地元や地域の子供たちと卒業生達とのつながりの場を作り、最終的に大商大へと導ければと。

福森: それはいいですね。
竹内: 実に素晴らしい提案だと思います。是非、実現に向けて尽力していただき、そういった活動の輪を広げて、将来的には各支部や現役学生とのつながりを深められたらよいですね。期待しています。

(収録平成26年4月19日)



三重県支部

【支部連絡先】〒518-0823 三重県伊賀市四十九町1704 西岡幸彦様方
TEL.0595-21-3556

三重県支部の執行部新体制の門出について

三重県支部長 山口 義美(昭和35年卒)



三重県支部は昨年末より新執行部体制に変わりました。

校友会本部、大学事務局よりのご臨席のもとに開催された先の平成25年定期総会において、昭和56年に支部発足

以来34年間支部の発展のために献身的な努力をされた菅原前支部長、中田前副支部長兼専務理事、伊藤前理事兼事務局の3人が、後任に支部の更なる発展を託してその役を退任されました。

登録会員も発足当時から3倍近い550余名の会員組織になり、同学、同門で学んだ会員同志が交流と親睦を深め、人材も集まり「地域社会における会員相互の親睦と研鑽を図る」ことの初期の目的が達成しつつあり、三重県支部の盤石を築かれました。この3人のご功績は誠に大なるものであります。

若い人々の意識、価値観を把握することは、支部組織運営には欠かすことが出来ないことであるため、我々よりも若い人に交代した新体制で進めることが、必要であるとの判断となったのでありますが、今まで支部運営の中核を担っていた

全員が退任して、後に任すとのことのみでは、一面では無責任なことでもあり、後任にきっちりつなぐ役も必要であることから、ワンポイントリリーフ役として前菅原支部長の後任に不肖私がお引き受けをした次第であります。

また、若い会員層を理解出来る3人の世代交代をした支部長代行を選任すると共に、事務局体制も3人に強化、更に、若年会員対策担当の理事役員を増員して、新たな組織体制のもとに一丸となっております。三重県支部の課題に向かって進んでおりますことをご報告申し上げます。



さらなる交流の場が広がることを願って、全国各地で活動を行っている各支部からのお便りをご紹介します。

関東支部

【支部連絡先】〒113-0033 東京都文京区本郷1-10-13-201 東京メディア工房・スペース 気付
TEL.03-3818-2287 FAX.03-3818-2227

あの日を忘れない

関東支部 大川 功(昭和52年卒)

東日本大震災が発生して早3年が経ちましたが、復興は遅々として進んでいない状況です。マスコミも3月11日前後は、紙面、テレビなどを賑わせますが、人々の関心が日一日薄れてきているのを肌で感じている今日この頃です。

私はソニー生命保険(株)に所属し、19年前の阪神淡路大震災を機にボランティア有志の会の一員としてボランティア活動を続けております。

東北3県での活動内容

岩手県では「元気の出る縁日」と題して、大槌町(4月)山田町(7月)陸前高田(10月)において炊き出し・ゲーム・カラオケ大会を行い仮設の皆様と楽しい時間を過ごしました。

宮城県では岩沼市仮設住宅にすむ小学生を対象に心のケアを目的とした活動を企画し、福島アクアマリン(水族館)に

て一日楽しんでもらいました。

福島県は原発被害で長期間の避難を余儀なくされている富田町の皆様に、生きる喜びを感じていただくことを目的としてプランターボックスにお花を植え、それを各自宅で育てていただく活動を行いました。

上述したように被災場所によって支援の仕方が変わってきております。この活動で一番大事なことは、被災された方々とコミュニケーションを密にしていかに長く続けていけるかということです。校友の皆様も出来ることから結構です、一歩踏み出してみませんか。



北摂支部

【支部連絡先】〒666-8501 川西市市役所議事事務局内 久保義孝様方
TEL.072-740-1111 FAX.072-740-1318

私が取り組んでいること

北摂支部 久保 義孝(昭和44年卒)

北摂支部は兵庫県川西市、猪名川町と大阪府豊能町、能勢町一市三町卒業生200人ばかりの支部です。現在、私は67歳で川西市の議員を6期務めている所です。その様な中で現在取り組んでいる仕事を紹介したいと思います。

10年ほど前に「身近な自然と町を考える会」を設立(会員数20人)で猪名川の観察をしてきました。今回紹介するのはこの会が中心になり、日本一の里山と言われる、川西市黒川地区で休耕田を借用し、トンボ池公園を造る計画を立て、昨年3月から休耕田周辺整備のため草刈りなどの作業に入り(毎月2回の土曜日)地域の山から間伐材を頂戴し畝の補強材に、又能勢電鉄の古い枕木を頂き、観察道に利用させていただくことにしたのですが、枕木を運ぶのには大変苦労しましたがおかげで立派な観察道が完成しました。

この黒川地区には、46種類のトンボを確認しており、今後は子ども達と里山の生き物観察を通し、自然の大切さ、命の大切さなどを勉強していく場になればと願っているところです。あとはトンボの写

真を貼る看板を作り、季節季節のトンボを観察して、日本一の里山を今後ともしっかり残して行く努力をつづけていきたいと思っています。今後のトンボ池公園に期待して下さい。



沖縄県支部

【支部連絡先】〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 前島明男様方
TEL.098-877-1886 FAX.098-877-1886

基地と沖縄

沖縄県支部 幹事長 当山 勝正(昭和54年卒)

昨年話題になっている沖縄の基地問題で、特に普天間基地の移設先として政府は、名護市辺野古のキャンプシュワブへの埋め立てを前提に進めています。私が勤務するグループ会社のカヌチャリゾートはまさにキャンプシュワブ目の前のリゾートです。景観を損ねる事はいうまでもなく、騒音の問題も気になります。他人は、政府から多額の保証を取り付けばよいのではと勝手な事をいいますが、経営上の危機的な問題になりかねません。

私は、特に基地反対派でも推進派でもなく、ただ沖縄県民の1人としての意見を述べたいと思います。

沖縄の基地問題について鳩山元総理の普天間基地の移設先を「最低でも県外」という事で民主党が圧勝し沖縄県民も県外、或いは一部国外と期待をした事は、事実です。その時に政府は、全国 都・道・府・県の首長と真剣に議論したのか疑問に思えて仕方ありません。又、日米交渉もわかりず。

それと3年前に起きた東日本大震災の汚染された土を何処へ持っていくかの議論でも沖縄県知事は、痛みはお互い分かち合うべきだという事で真っ先に手を上げましたが、結局我が身が誰でもかわいいので殆どの首長は、県民からつかれる事をあえて推し進めなかったのです。その事と基地問題を、一緒にする事は、筋違いだとは思いますが、沖縄県民はおとなしいのか優しすぎるのか、結果的には、政府の言いなりにこれまでなってきたのです。私の移設先に対する考え方は、嘉手納基地への統合案ですが、残念ながら米軍は、空軍と海兵隊は、一緒に出来ないという理由で実現できない現状があるようです。政府は、嘉手納基地から以南の基地に関しては、撤去していく動きもあるようですが、その点では評価したいと思います。

ある先輩が、「基地税」というもので基地面積に対して金額の取り決めをして国民の税金から捻出する仕組みを導入してはどうかと、現在の特別処置の支援というのは、いつまで続くか

わからないのと金額も変動があり、「アメとムチ」は、妥当なやり方とは思えません。かといって沖縄は、基地なくして自立できますかという弱い側面もあり現実的な面だけで判断するのも厳しく、子や孫の代まで見据えて考えなければいけない大きな問題だと思います。

現在、那覇空港には隣接した広い自衛隊の基地があります。残念ながら政府は、いろんな理由付けをして移転しようとしません。おわかりの通りハワイでは、空港の目の前にレンタカーが広くスペースを取っています。観光客にとって非情に利便性が良いです。沖縄の基幹産業である観光業において観光客の約6割がレンタカーを使います、今後の大きな問題点ですが、政府は、是非自衛隊を移設して観光の為に有効活用できるようにしていただきたいと思

最後に全国の大商大校友会の皆様にも少しでも沖縄の基地問題に対して考えて頂く機会になればと思います。

校友会 | 支 | 部 | 便 | り |

富山県支部

【支部連絡先】〒939-2649 富山県富山市婦中町余川16 (株)藤井産業内 藤井泰三様方
TEL.076-469-3007 FAX.076-469-3536

富山の味を守り、伝統と文化を大切に、皆様の健康と長寿のお役に立つ道正昆布

道正 昌彦 富山県支部会員(昭和52年卒)、富山県支部 対談者 横田 安弘支部長(昭和40年卒)、取材スタッフ 藤井 泰三幹事(昭和62年卒)



左:道正 昌彦、右:横田 安弘

横田安弘支部長(以下横田):こんにちは。(株)道正昆布店、道正昌彦社長さんの会社を訪問させていただきました。早速ですが、実は富山県民の昆布平均消費量は、全国一位なんですよ。

道正:それは北前船の歴史から始まります。越中富山の薬や高岡銅器で作った鉄鍋などを出荷し、昆布を仕入れ加工したんです。それが「こぶ締め」をはじめとする様々な調理法を考えだし食文化としての消費が定着しました。

横田:取り扱い商品や会社の理念などを教えてください。

道正:商品は、とろろ昆布、ラウス昆布等、全部で19品目



取り揃えています。なかでも「黒とろろ」は、富山県にしかないもので、味も絶品です。昆布は、毎日口にする食品です。「家族の健康と笑顔のそばに」をモットーに、味と品質にこだわっています。

横田:現在の取り組みや今後の目標、課題などを聞かせていただけますか。

道正:今、昆布料理は、女性の間では「美容食品」として、またカルシウムを多く含む昆布は、「成長期の子供に良い食品」として注目されています。

若い世代にも広く食べていただきたいので弊社HPやアマゾンさんなどのインターネットを活用した販売に力を

入れています。

今後の取り組みとしては、昆布を単なる食品としてではなく、富山の味と伝統の食文化として全国に広めるとともに、これからの世代に受け入れられるよう新しい商品開発や調理法、食べ方などにも力を入れたいと思っています。(詳しくは、道正昆布HPをご覧ください。)

横田:ありがとうございました。これからもますます道正昆布さんが繁盛され、消費者の健康と長寿のお役にたたれることをご祈念申し上げますとともに、対談していただいたことに厚く感謝し対談を閉じさせていただきます。



京都府支部

【支部連絡先】〒612-8016 京都府京都市伏見区桃山町養齊21-20 小川敬雄様方
TEL.075-612-1580 FAX.075-612-1580

校友の輪を広げよう!!!



校友会の皆様こんにちは。昨年新しく支部長を引き受けました安田でございます。皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、宜しくお願い致します。

私は昭和18年生れで、昭和40年卒業

生です。卒業後は実家で商売の後継ぎとして現在に至っております。私の会社は絹織物業を営んでいます。丹後ちりめんの産地で私は三代に渡り丹後ちりめんの製造販売にたずさわっております。昭和38年には昭和皇后様御還暦の際弊社製造の訪問着を献上し、又義宮様御成婚の折華子様にも献上させて頂きました。常に品質の高い物創りを心がけ日々研鑽を積んでいる所であります。

また伝統を大切に守りながら現代にマッチした新しい感覚の織物にもチャレンジし一歩先を行く物創りに努力してまいります。

京都府は、伝統文化の多い地域であり多くの校友会の仲間が、活躍されておられます。今後も学園と校友会が、一体となって建学の精神であります『世に役に立つ人物の養成』にならって皆様が活躍されることを願っております。

京都府支部長 安田 光孝(昭和40年卒)

京都府支部の行事として、親睦行事を始め年に一回総会を行っております。その内容としては大商大OBで活躍されている方を講師としてお招き講演会を開催し、学長様を始め、多くの校友会役員様をお招きし、情報交換と親睦会を行っております。

今後も多くの皆様に校友会に入会して頂き、大商大で学んだ同志として交流の輪を広げ、さらなる発展を願っております。会員の皆様の温かいお力添えを賜りますように御協力宜しくお願い申し上げます。



さらなる交流の場が広がることを願って、全国各地で活動をしている各支部からのお便りをご紹介します。

高知県支部

【支部連絡先】〒781-8104 高知県高知市高須1-18-3 岩井貞雄様方
TEL.088-882-1000 FAX.088-882-1117

高知で活躍する会員の紹介

高知県支部長 川崎 洋輝(昭和41年卒)

第2回目は創業16年目を迎えるサクセス工業株式会社を運営されている野村純司さんをご紹介します。

野村さんは商経学部経済学科を昭和41年に卒業後、建設業の大和工業株式会社へ入社され、営業部門で職業人としての活動をスタートされました。昭和62年からは専務取締役営業本部長として四国支店長を兼務され、四国地域の市場開拓を務められました。平成10年には、かねてからの夢であった起業を実現するため、会社を円満退社し、4月27日付でサクセス工業株式会社を設立して代表取締役社長に就任されています。

業種は土木工事専門業で資本金2千6百万円、従業員数68名、年間売上高が約11億円の規模です。法面工事、ボーリング工事を得意とされ、主要取引先は高知県あるいは市町村で、99%が公共事業となっています。県内の同業35社の中

で売上はトップクラスであり、建設業界全体743社で見ても6位にランク付けされる優秀な企業に成長しています。

社訓である「営業は誠実であれ」、「工事は堅実であれ」、「事務は確実であれ」の三つをモットーに、ISO9001認証やエコアクション21を取得して品質管理や環境対策も徹底され、本年1月28日には優良建設工事施工者として高知県知事賞と優良賞を受賞されました。

今後も従

業員を大事にしながら後継者を育てるとともに、新しい工法、機械および材料を積極的に導入し、新しいテーマへの挑戦を継続して更なる飛躍を期しておられます。



石川県支部

【支部連絡先】〒920-0902 石川県金沢市尾張町1-1-14 廣澤郁夫様方
TEL.076-231-4446 FAX.076-262-0144

石川県支部長夫妻に同行して

石川県副支部長 高 誠逸郎(昭和40年卒)

理事長・学長 谷岡一郎先生をはじめ多くの大学関係者、ならびに、校友会会長の高岸映治氏、副会長の宇野幸三氏には石川県支部にたびたびご足労頂き厚くお礼申し上げます。

1月20日(月)大阪商業大学校友顕彰式並びに記念講演会がユニバーシティホール「蒼天」でおこなわれました。受賞者並びに記念講演講師で石川県支部長の廣澤郁夫氏とそのご令室の随員として高誠逸郎が参加させていただきました。

【大阪商業大学校友顕彰制度】

大学に於いて固有の社会的使命を果たす為、建学の理念として「世に役立つ人物の養成」を掲げ、ひたすら有益な人材の養成に大学は努め現在に至っています。

このことを踏まえ平成6年度に建学の理念に適う優れた社会的貢献を果たし、併せて本大学の名誉を大いに高揚した卒業生に対して、その功績を称え表彰する制度として設けられました。因みに過去に表彰されたのは17名

で、該当者がいない年度もあったと聞きました。

廣澤郁夫氏略歴

昭和9年11月3日生まれ、79才
昭和32年3月 大阪商業大学 商経学部商学科 卒業(第5期生)
(元)金沢市第二消防団浅野川分団団長
(元)味噌蔵校下社会福祉協議会会長
平成22年 瑞宝単光章 受章
記念講演会「79才までの軌跡と社会人として」内容は次のとおりです。
①出生から大学卒業まで②卒業後から今日までの役職③大阪商業大学石川県支部創立④金沢市の概略⑤水引について(家業)⑥消防⑦叙勲、校友顕彰⑧哲学

特に支部長は写真撮影が趣味で多くの興味ある映像をプロジェクターで投影し学生にも非常に理解しやすい内容であったと思います。

なお、校友会石川県支部の最近の活動は次のとおりです。

平成26年1月25日(土)加賀地区新年会料亭「まる重」JR加賀温泉駅前、石川県は南北に細長い県なので南から「加賀地区」「金沢地区」「能登地区」に分かれています。地区会員に県支部の役員も参加していただき盛会でした。
2月1日(土)石川県支部新年会「ガーデンホテル金沢」JR金沢駅前
2月15日(土)北陸三県合同役員会「福井パレスホテル」JR福井駅近く 3県合同の事業計画等について検討しました。
3月29日(土)石川県支部役員会 「ITビジネスプラザ武蔵」金沢市中心街 以上



校友会 | 支 | 部 | 便 | り |

広島県支部

【支部連絡先】〒739-2101 広島県東広島市高屋町造賀5799-1 渡辺高守様方
TEL.082-436-0295

校友と美酒鍋を囲んで

広島県支部は今年で、5年目を迎えます。徐々にではありますが、校友の輪が広がっています。

私の故郷である東広島市の西条は、灘、伏見と並ぶ日本有数の酒処です。この西条において、今年で25回目を迎える

酒祭りという市内最大のイベントがあります。この酒祭りは、毎年10月の土日に、JR西条駅周辺で2日間にわたり開催されます。

県支部では、校友の交流と親睦を深めるため、3年前から、この酒祭りに「美酒鍋を囲む会」として、参加しています。この美酒鍋とは、酒蔵で働く蔵人の生んだ東広島郷土料理で、日本酒を惜しみなく鍋の中に入れ、塩と胡椒だけで味付けしたシンプルな鍋料理です。これが実におい

広島県支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)

しいのです。

平成25年度は、家族を含め9名の参加により美酒鍋を囲みながら、学生時代に舞い戻り、それぞれの時代の思い出話に花が咲き、私も当時の懐かしい大学界隈の情景が思い出され、楽しいひと時を過ごすことができました。

そのあと、西条駅周辺の酒蔵の白壁、赤レンガの煙突が建ち並ぶ、酒蔵通りをほろ酔い気分ですらりぶらり。毎年、全国から20万人以上が参加する祭りです。もしかしら、この中に校友の方がおられるのではないかと、そんなことを考えながら、酒の香りと人ごみに酔いしれて、酒蔵通りを散策いたしました。

今後も、このような地域行事に参加し、少しでも、校友の輪が広がることを願って校友会活動を進めていきたいと思



愛媛県支部

【支部連絡先】〒793-0030 愛媛県西条市大町1215-1 工藤憲治様方
TEL.0897-56-1572

各大学校友会愛媛県支部対抗 親善ソフトボール大会初出場

愛媛県支部広報部長 吉弘 輝男(昭和55年卒)



平成25年11月4日(振替休日)午前9時より今治市波方公園運動場で出場18校による第46回各大学校友会愛媛県支部対抗親善ソフトボール大会が開催されました。

開幕戦に先立ち、午前9時から開会式。昨年優勝した同志社大学に続き15番目は東京大学、16番目に我がチーム

が意気揚々と入場行進しました。「初出場、大阪商業大学」の場内アナウンスが流れた時はさらに大きな拍手で歓迎していただきました。参加チームの温かい気持ちが頬に伝わりました。

1回戦の対戦相手は強豪立命館大学。スコアは24対15と打ち負けはしましたが、「来年は絶対勝つぞ!」と、声が聞こえてきました。この心意気が大事だと思います。

今治商工会館での懇親会はお酒も入り、まるで東の野球の聖地、神宮の森のようなエール交換で盛り上がりました。この日の野球部の活躍が嬉しく工藤事務局長が「大阪から吉報が届きました。硬式野球部が関西第一代表となり神宮

への切符を手に入れました。」と会場の皆様に報告しました。その後、なんと明治神宮大会ベスト4まで進出しました。

来年は改築した今治市営球場での開催予定です。各大学校友会は会員数が減少している点で共通の悩みがあります。校友会の皆様、このような機会にぜひ参加して参考にさせていただければと思います。

【順位】

優勝 近畿大学	10位 国士館大学
準優勝 松山大学	11位 立教大学
3位 立命館大学	12位 明治大学
3位 慶應義塾大学	13位 日本大学
5位 京都産業大学	14位 大阪商業大学
6位 関西大学	15位 同志社大学
7位 専修大学	16位 関西学院大学
8位 中央大学	17位 東京大学
9位 早稲田大学	18位 法政大学

岡山県支部

【支部連絡先】〒703-8267 岡山県岡山市中区山崎301-58 永田嘉男様方
TEL.086-276-9054

在学生の思いにこたえて

「今日の教職講座で刺激を受け、もやもやしていた志望の動機がまとまりましたので聞いてもらえますか」と携帯電話がかかってきた。電話の主は大阪商業大学経済学部3年在学のO生である。彼は中学生の時、熱血指導を受けた担任の先生のようになりたいと教師になることを志している。高校・大学と野球部に所属していたが、部活と教職挑戦の両立の難しさを現在の世情から自ら感じとり、教員採用試験一本に絞る懸命な努力をしているのである。その思いや様子が、ひと月に2、3度ある電話からひしひしと伝わってくる。

その彼との出会いは3年前岡山市内で開催された大学説明会である。教職課程がある大学を探していた彼に私の経験を話したのが始まりである。私は10年前に公立高校を定年退職したが、在職時から岡山にはOB組織として大阪商大を

卒業して高校の教職に就いている20数名が集う岡山御厨会があり、その関係で大阪商業大学事務局参与をさせてもらっていた。現在の校友会岡山県支部は2011年に発足ですが、同じ大阪商業大学OBとして力を合わせてやっていきたいと思っている。

ところで、今年の夏には母校大阪商業大学で全国の御厨会が一堂に会し開催されると聞いている。校友会と御厨

岡山県支部 笹部 英二(昭和41年卒)

会とが心をつなげてO生のような思いを一つ一つ育み実現させ、在学生が少しでも満足できる大学になるように支援していくことが出来ればと思っている。



大阪商業大学 校友会 岡山県支部 「集い」 第4回 総会 平成25年11月10日 於 アークホテル岡山

兵庫御厨会

【支部連絡先】〒659-0042 兵庫県芦屋市緑町1-1-502号 「兵庫御厨会」事務局長 宿南敏行
TEL・FAX.0797-55-1861 携帯.090-2709-7334

教師育成の絆を全国へ

「兵庫御厨会」会長 揖保川文化・スポーツセンター(所長) 福田 義道(昭和49年卒)



「兵庫御厨会」は本学を卒業、修了し教育職に携わる者の団体として今年で発足11年目、会員101名となりました。

「世に役立つ人物の養成」を理念とし、会員相互の交流と研鑽を深め教育のプロとしての教育力・人間力の向上に努めています。

特に教育職をめざす方へ「勉強会」を毎年6月に実施し卒業生、大学生に採用試験合格に向けた「最新情報・面接実技」など現職管理職やベテラン講師が直接指導しています。

また合格者から「合格への秘訣」などアドバイスも含め年々内容も充実し「数十名」が合格



し県内外の小中高校の教諭として活躍しています。

更に「他府県交流会」として7回目を迎え、今年8月末「全国御厨会」を母校で開

催の予定です。全国各地で教育職にご活躍、ご退職の皆様には是非ご参加賜りたくご案内申し上げます。



「全国御厨会」開催のご案内

【日 時】平成26年8月30・31日(一泊二日) 受付15:00 開会15:30より
【会 場】大阪商業大学(4号館)他
【内 容】全体会・講演会・情報交換懇親会
【参加者】本学教職員・校友会本部役員
本学卒業の全国小中高大学教職員及び教育行政関係者(事務職・退職者含む)
*詳細は別途、大学よりご案内の予定です。

校友会 | 支 | 部 | 便 | り |

滋賀県支部

【支部連絡先】〒522-0026 滋賀県彦根市大堀町577 堤健郎様方
TEL.0749-22-5411

卒業生の望月氏による講演と野球部の応援

滋賀県支部長 亀田 彰喜(昭和46年卒)



平成25年11月30日(土)にホテルニューオウミで、大阪商業大学を昭和62年に卒業された望月聡氏に、「なでしこジャパンから学んだこと」というタイトルで講演をしていただきました。

望月氏は滋賀県の出身で栗津中学校、守山高等学校から大阪商業大学に進学し、卒業後はNKK日本鋼管のサッ

カー部で活躍された後、京都パープルサンガのコーチとして活躍され、現在はびわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部教授として、またサッカー部の監督としても活躍されておられます。過去には、サッカー女子日本代表の「なでしこジャパン」のコーチとして、FIFAワールドカップドイツ大会では優勝に、さらに、記憶に新しいところではロンドンオリンピックで「なでしこジャパン」を銀メダルに導きました。

講演では「なでしこジャパン」のコーチとして見た各選手の個性や、各選手の個性に基づいたコーチとしての個別指導のお話をさせていただくとともに、「なでしこジャパン」の特色などについてもお話をしていただきました。また機会がございま

したら、今後のサッカーの将来や学校でのサッカーの教育などについても、お話を聞くことができるとしております。

それからまた、滋賀県支部の理事に大阪商業大学の学生時代に硬式野球部出身者がいることから、硬式野球部の応援にも協力いたしております。31年ぶりの明治神宮野球大会での平成25年11月18日(月)の近畿大学工学部との激戦の応援に駆けつけ、勝利をとともに喜びあいました。



福井県支部

【支部連絡先】〒918-8002 福井県福井市左内町9-22 清水久通様方
TEL.090-3769-1122

福井県支部設立三年目をむかえて

福井県副支部長 川崎 和章(昭和50年卒)

福井県支部が設立されて、早いもので2年が経過いたしました。これまで北陸3県で支部がなかったのは、福井県のみで、石川県、富山県の両支部は伝統があり、活発に活動されていらっしゃるということをお聞きしておりました。このような状況のもと、私の2年先輩の清水支部長と同じ職場であったということもあって、支部の立ち上げについて、常々、話をする機会がありました。

そして、福井県内在住の何名かの卒業生と相談をしながら、設立準備委員会を立ち上げ、2年前の平成24年6月に、設立総会が開催され福井県支部が誕生いたしました。

さて、支部設立3年目をむかえて、今後の活動内容の充実と支部活動の活性化について考えなければならない時期にきております。このようなことを踏まえ、年1回開催される北陸3県合同役員会に参

加し、さまざまなことを話し合う中で、伝統ある石川県、富山県両支部の皆様方から、多くのものを吸収し支部活動の充実と活性化に繋げていきたいと考えております。

また、支部、会員相互の交流と親睦を図る目的で、3県合同の行事を開催することを模索中ではありますが、実施上さまざまな問題があり、今後3県で検討して実施できればと考えております。

以上のように、福井県支部は誕生した

ばかりで、未成熟な面が多々ございます。校友会本部と他の支部の皆様方のご指導、ご助言のほどよろしくお願いいたします。



大学の取り組み

平成25年度卒業生の就職状況

昨今の就職・雇用状況について、東日本大震災の復興の遅れはあるものの、原発問題もようやく政府が介入し、解決に向けた糸口が見えてきました。また2020年オリンピック開催地が東京に決定してからは、建設業を中心とした雇用が広がりを見せてきています。特に大手・中堅企業につきましては、採用人数の増大が目立っています。本学も一社における採用決定人数が前年よりも増加したことから決定率が大きく向上した要因の一つです。

学生動向については、依然有名一流企業へのエントリーが多い、いわゆる「ブランド志向」が続いています。原因は、保護者の過度な関与が考えられ、せっかく大学を卒業するのだから大手一流企業に入社してほしい親の思いが強く影響しています。日本は99.7%が中堅中小企業のため、学生はもちろんのこと保護者に対してもキャリアサポート室(以下本室)では「中小企業の魅力」を伝え、理解してもらえるように様々なプログラムを展開しています。

一方、企業の求める人材像は、社会人スキルよりも「人間性」「その企業への熱い思い」の二つが群を抜いています。このようなことから採用試験の内容にも若干変化が見られ、グループディスカッションや数度にわたる面接など学生の中身をじっくり評価するようになりました。

そこでキャリアサポート室では、まず「自己の理解」に時間を掛け、「自分って何者?」「何がしたいの、何ができるの?」を徹底的に分析します。そして「業界・職種の研究」に励み、選択肢の幅を広げて就業場所を探し、自分の社会的強みを知ることに重点を置いた指導を行ってまいりました。また専門家による集中個別面談では、一人50分の時間を費やし、就職活動全ての疑問解決、不安解消に繋がるように実施いたしました。

同時に、求人獲得に向けての施策につきましては、学内企業セミナーを中心に企業と学生の出会いを様々なコンセプトで開催いたしました。Uターン就職支援では、愛媛県と就職支援協定を締結し、支援体制の更なる強化を図り、次年度におきましても他の中四国、北陸地方の自治体と支援協定締結に向けて活動していきます。その折には、校友会各支部との連携無くして進めていくことはできないと考えていますので、よろしく願いいたします。

平成26年度につきましても建学の理念の具現化された一つ、「楽しく生き方」の実現に向けて、本室では「楽しく働く」にはどのような就業場所が合っているのか、一人ひとりの学生に対し、親身になって対応して参ります。今後とも校友会のご支援賜りますよう卒、よろしく願い申し上げます。

卒業生数(前年)	就職内定率(前年)	進路内定率(前年)
905名(922名)	95.3%(95.8%)	96.0%(96.5%)

出身県別2015年3月卒業予定者数

北海道	2	滋賀県	42
青森県	0	京都府	54
岩手県	1	大阪府	438
宮城県	1	兵庫県	130
秋田県	1	奈良県	89
山形県	1	和歌山県	84
福島県	0	鳥取県	18
茨城県	0	島根県	7
栃木県	0	岡山県	33
群馬県	1	広島県	15
埼玉県	1	山口県	7
千葉県	2	徳島県	9
東京都	1	香川県	24
神奈川県	1	愛媛県	14
新潟県	0	高知県	15
富山県	5	福岡県	10
石川県	6	佐賀県	1
福井県	9	長崎県	2
山梨県	0	熊本県	4
長野県	2	大分県	3
岐阜県	3	宮崎県	3
静岡県	1	鹿児島県	0
愛知県	3	沖縄県	1
三重県	23	外国	3

平成26年度入学生 都道府県別状況

男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数
6	6	12	6	6	12	76	14	90	3	3	6
1	1	2	9	1	10	57	9	66	6	6	12
2	2	4	3	3	6	7	5	12	2	2	4
1	1	2	1	1	2	15	1	16	1	1	2
1	1	2	5	5	10	26	2	28	2	2	4
1	1	2	2	2	4	11	11	22	3	1	4
1	1	2	2	2	4	4	4	8	2	1	3
1	1	2	13	6	19	10	10	20	22	6	28
1	1	2	24	2	26	18	2	20			
1	1	2	52	5	57	18	5	23			
1	1	2	499	88	587	14	2	16			
1	1	2	89	30	119	5	5	10			

合計…(男子)1,020 (女子)181 総数/1,201名

都道府県別 在籍(2~4年)状況 (H26.5.10)

男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数
2	2	4	17	2	19	159	30	189	6	6	12
1	1	2	35	2	37	39	3	42	7	1	8
1	1	2	7	7	14	25	1	26	2	1	3
2	2	4	10	2	12	71	5	76	3	2	5
1	1	2	4	4	8	31	9	40	3	3	6
2	2	4	6	1	7	17	1	18	3	4	7
3	3	6	44	6	50	14	6	20	11	7	18
5	5	10	68	15	83	53	12	65			
4	1	5	122	16	138	53	10	63			
1	1	2	1239	166	1405	46	6	52			
1	1	2	367	67	434	14	4	18			
9	5	14	249	29	278	3	1	4			

合計…(男子)2,761 (女子)420 総数/3,181名

日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみなさまへ

「返還猶予制度」のご案内

母校在学中に日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみなさまにおかれましては、現在返還中の方、すでに完済された方までいらっしゃると存じます。

現在、奨学金を返還中のみなさま、返還継続が困難な状況に陥った場合、所定の手続きをすることで返還が猶予されたり、1回あたりの返還額を減額したりできる制度があることをご存知でしょうか?所定の手続きを経て、返還猶予が適用されますと、延滞金が課されたり、法的措置が取られたりすることはありません。もし、現在、奨学金の返還継続が困難な状況下におかれているにも関わらず、返還が滞ったままになっておられる方がおられましたら、ぜひ、返還猶予の手続きについて日本学生支援機構へご相談くださるようご案内申し上げます。

問合せ先 奨学金返還相談センター 返還ナビダイヤル
TEL.0570-03-7240(8:30~20:00) 一部携帯電話・IP電話等から 03-6743-6100

日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp> ※手続きに必要な用紙のダウンロードもできます。

第12回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト

ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指し、本学の学生・大学院生を対象として2003年度から毎年実施する新しい商品・サービスやビジネスモデルのアイデアを競うコンテストです。

第12回では、自由部門と企業からの課題に取り組む課題部門を設定し、課題提供企業も新たに東大阪ラグビーグッズ創生クラブ、旭電機化成株式会社、株式会社カワキタの3社に協力いただき、また優秀作品の商品化によって地域振興へも貢献したいと考え、現在企業と連携し商品化に向け進めています。



【協力企業】 東大阪ラグビーグッズ創生クラブ・旭電機化成株式会社・株式会社カワキタ

学生のアイデアが商品化されることに決定

東大阪商工会議所会頭賞 経済学部経済学科4年田代翔太さん(アイデア名「オシャレ蛍光ワッペン」)は、課題名「お年寄りや、からだの不自由な方の暮らしが楽しく安全になる商品」の提供企業である旭電機化成株式会社の協力のもと、商品化の実現に向け進めています。数回におよぶ打合せ、アンケート調査、市場調査の実施から結果報告書の作成とその報告、試作品づくりを経て、現在商品化にむけ最終段階となっています。7月「マグネット反射ワッペン」として販売される予定です。

「オシャレ蛍光ワッペン」とは車のライトなどの光が当たると、自分の存在を知らせることができる高輝度反射ワッペンです。歩行者の服やカバン、帽子など自分の思いのところに付けられることができる、オシャレな交通安全対策商品です。



海外ビジネス研修

2014.2.10~2.14 ベトナム ホーチミン

コンテストで上位入賞した4名が学生代表として、世界の動向を肌で感じられる機会となる海外ビジネス研修に参加しました。今回の海外ビジネス研修は、国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでもあせることない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づくプログラムとしました。

●プログラム

1日目 2/10(月)	関西国際空港／ホーチミン 午後 戦争証跡博物館見学／ホーチミン泊	
2日目 2/11(火)	ホームビジット体験 ホームビジット体験 タンタック村内散策(工場、水田散策) ホストファミリーとの交流とベトナム家庭料理体験 【ホームビジット体験】 現地の暮らしを体験、村民の方と一緒にタンタック村を散策。 水田の見学やココナッツ作業所を訪れ、村民の生活体験をしました。	
3日目 2/12(水)	企業講演・視察 JICA視察 エボラブルアジアの企業視察 代表取締役社長 薛さんによる講演会・視察 国営百貨店サイゴン・タックス・トレード・センター視察 JICA南部連絡所訪問 取組事業についての説明とビンファン下水処理場視察 『ホーチミン市下水管理開発プロジェクト』	
4日目 2/13(木)	語学学校との交流 さくら日本語学校 日本語クラス授業参加と交流 さくら日本語学校の学生との学外散策／ベンティン市場視察	
5日目 2/14(金)	ホーチミン／関西国際空港	

海外ビジネス研修事前学習

海外ビジネス研修の事前学習として、ベトナムからの留学生との交流・語学学習、ベトナム関係講座への参加、独立行政法人国際支援機構国際センター(JICA)【兵庫県神戸市中央区】とベトナム領事館【大阪府堺市堺区】を訪問し、ベトナムとの関係づくりと深い交流につながるきっかけづくりとして実施しました。

- 第1~3回海外ビジネス研修説明会
- ベトナム関連講座に参加 【市民ビジネス講座】(大阪商業大学比較地域研究所主催)
- ベトナム出身留学生からの語学研修
- ミャンマー出身留学生との交流(学生生活課主催)
- JICA・ベトナム領事館 施設見学・講演

学生があらゆる場面でいろいろな経験・体験できるプログラムを構築し、起業家精神あふれる人材を育成するプログラムを設けています。



第13回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園

高大連携の取組のひとつとして、13年前から全国高等学校ビジネスアイデア甲子園を開催してきました。高等学校での起業教育の実践の場を提供するべく、全国高校生を対象に新しい商品やサービスに関するアイデアを募集するコンテストです。

コンテストでは全国の高等学校160校から6,189点のアイデアの応募がありました。多数の応募作品の中から厳正な書類審査、プレゼンテーション審査を経て愛知県立豊橋工業高等学校 アイデア名「BBQを便利にするアイデア」がグランプリを受賞し、地元企業と連携を図り商品化に取り組んでいます。

グランプリ受賞アイデアが商品化へ



グランプリを受賞した作品のアイデア名「BBQを便利にするアイデア」が、『風に飛ばされない皿 エアロディッシュ』と名付けられ商品化に向けて進んでいます。

商品化には豊橋市の支援要請により、産学官共同研究や地域産業支援のための事業を行う株式会社サイエンス・クリエイトと、食品包装資材などの総合加工と販売を行う大三紙業株式会社がサポート。「豊橋工業課題研究班3」のメンバーは地元の支援をうけて、まもなく自分たちのアイデアを社会に送り出す予定です。

TV・新聞記事でも多数取り上げられました!

- テレビ東京系列ワールドビジネスサテライト「トレンドたまご」(2014年1月17日放映)
- NHKおはよう日本「まちかど情報室」(2014年4月11日放映)
- 全国放送「世界一受けたい授業」(2014年5月17日放映)



▲中日新聞 2013年12月14日付東三河版



▲東日新聞 2013年12月18日付社会面



▲毎日新聞大阪本社版 2014年3月21日付経済面

図書館利用の案内

図書館は2002年の開設以来、立地条件・環境ともに好評を得ています。利用者からは、開館時間延長の要望も多く、一定の需要が期待されることから、平成26年4月1日より下記のとおり運用します。これは、学習の場の拡大、地域への更なる貢献のため取り組むものです。校友の皆様も大いにご利用ください。

平日/7:00~22:00 土・日・祝日/9:00~18:00 休業期間:9:00~20:00※(※夏期・冬期・春期休業日)



2015年4月 大阪商業大学GET(Global Entrepreneur Training)コース スタート!

GETコースとは、
英語×ビジネススキル×世界の価値観を
身につけグローバルに活躍できる
人材を育成するコースです。

GETコースでは留学や独自の英語・専門科目カリキュラムを実施。経済学、商学、経営学などを英語で理解・表現し、さらには実際のビジネスシーンで活用できるスキルを身につけます。



学 部	学 科	募集人員	
経済学部	経済学科	海外留学公募推薦入学試験 10名	20名
総合経営学部	経営学科 商学科 公共経営学科	海外留学一般入学試験 10名	

※GETコースには、留学先の学費、本学の授業料、資格取得講座などに対する減免制度があります。詳しくは、広報入試課へお問い合わせください。

～学園の動き～ 谷岡学園梅田サテライトオフィスを開設いたしました!

親しみを持って使用できる施設となるよう愛称を「CURIO-CITY(キュリオシティ) (College & University Research Innovation Office-CITYの頭文字を取って)と名付けました。

平成26年6月、谷岡学園の各設置校が利用できる「谷岡学園サテライトオフィス」を、JR大阪駅北側にあるグランフロント大阪タワーA16階に開設しました。

サテライトオフィスは、各設置校の情報発信をはじめ、授業やイベントの実施、さらに地域の方々を対象とした生涯学習等、新たな学びの場を広く提供する予定です。

学園に所属する学生・生徒、教職員が教育・研究等の様々な活動を行うためにこの場所に集い、交流することにより、新たな創造を生み出し、広く社会に貢献することができる場となることを目指しております。

また、校友会支部の集まりにご利用いただけます。



サテライトオフィスイメージ図

サテライトオフィスの目的

- ① 学園広報**
谷岡学園各設置校の情報や取り組みを広く発信します。また、各設置校に進学を希望する生徒や、希望者が在籍する学校の教員を対象とした各種説明会や相談会も実施します。
- ② 教育、研究活動の場**
学園各設置校の在籍生、教職員、卒業生を対象とし、教育、研究活動の場を提供するほか、学生作品等の展示会やイベントの実施、学生間、在学生とOBとの交流ができる場とします。
- ③ 就職活動のサポートオフィス**
就職活動のサポートとして、大商大・芸工大・女子短大の3校の学生が参加することのできる会社説明会や就職支援講座などを企画し実施します。求人情報のインターネット検索や就職活動の合間の休憩場所としても利用できます。
- ④ 生涯学習**
駅前という利便性を活かして、本学の教育研究の還元を目的とした生涯学習の機会を提供します。
- ⑤ 産学連携**
地域の課題解決や活性化に向けた産学連携事業の推進を図ります。



6年連続で寄付講座を開講～今年も校友3氏が登壇～

今年も大阪商業大学公開講座「地域社会と中小企業」(7月10日まで全12回)が始まった。この講座は平成10年度より始まった一般社会人も受講できる公開講座として定着し、校友会の寄付講座も今回で6回目の取り組みとなる。

その内、4月17日、24日、5月8日は校友会が寄付講座として開講しており、校友3氏がそれぞれ登壇した。まず、17日は「中小企業を取り巻く金融環境」について、京都中央信用金庫審査部長 百武健一氏(昭和46年卒)が講演。中小企業の経営課題に取り組む地元信金の役割、地域への貢献など事例をまじえながら話された。続く24日は明治42年の老舗を率いる合名会社藤室商店代表社員 藤室伸一氏(昭和54年卒)が登壇。4世代にわたる醤油造りにかける想い、お客様との会話の中からマイカー時代の到来を予見し、ガソリンスタンド経営に乗り出したいきざつなど、今日を築きあげた「信頼こそ商売の原点」を熱く語ってくれた。

最後には「トイレタリー業界の変遷」について(株)内金社長の内田克宏氏(昭和43年卒)が登壇。生活必需品約1万5千点を扱う卸問屋として大正期から活躍。地域社会との関わりを持ち続ける普段の努力が経営発展の礎と話された。

他にも、地域で活躍している中堅・中小企業の経営者や行政、マスコミ、経済団体など広く各分野からの特別講師による実体験に裏打ちされたユニークな公開講座として有意義に行なわれた。



●左から
百武健一氏 (昭和46年卒)
藤室伸一氏 (昭和54年卒)
内田克宏氏 (昭和43年卒)

多目的屋内競技場が完成

大阪商業大学正門横の旧体育館がこのほど改修工事を終え、新たに多目的屋内競技場に生まれ変わった。屋内は3面のテニスコートとして使用でき、ベージュ色を基調とした上質なオムニコート。天候に左右されず、屋内でテニスができる環境は全国でも珍しく、これまで以上の活躍が期待されます。



京セラドーム大阪のフィールドシートスポンサーになりました!

平成26年の1シーズン、谷岡学園が京セラドーム大阪のフィールドシートスポンサーとなりました。フィールドシートの名称は「大商大シート」となり、その名称で社会一般に販売されています。また、1・3塁の内野フェンスには、「大阪商業大学」と「神戸芸術工科大学」のロゴが3面ずつ掲出されています。

今年は、大阪商業大学硬式野球部の出身で、前シーズンまで読売巨人軍に所属していた谷佳知選手がオリックス・バファローズに復帰されました。校友会の皆さまもぜひ、谷選手の活躍をご期待いただき応援くださいますよう、よろしくお願いいたします。



親子3世代表彰について

この度、大阪商業大学では、親子3世代(祖父母、父母、孫※)にわたり本学に入学された方々に対して、大阪商業大学への愛校心を涵養する制度として「親子3世代表彰制度」を設けました。校友会員の皆様の中に、大阪商業大学および大阪城東大学を卒業され、3世代まで大阪商業大学を卒業(在籍)されておられましたら、学生生活課までご連絡ください。ささやかではありますが、大学祭期間中に感謝の意を表したいと思います。(※3世代は原則、直系とします。退学・除籍者は対象となりません)7月末日までに、学生生活課へご連絡ください。

連絡先 大阪商業大学 学生生活課 電話:06-6782-2297 ファックス:06-6781-8438
e-mail:oucsss@oucow.daishodai.ac.jp

谷口・今西両校友に叙勲

去る4月29日付けをもって、平成26年春の叙勲が発令され、校友会副会長 谷口植佳氏(昭和34年卒、元東大阪市議会議長)並びに校友会高知県支部初代支部長 今西清氏(昭和38年卒、元高知市議会議員)の両氏が、それぞれ旭日双光章の栄誉に浴されました。おめでとうございます。

訃報

去る1月23日、校友会愛知支部初代支部長 川村喜久明氏が、また5月26日には校友会理事 乾誠治氏のご逝去されました。これまでの校友会活動へのご尽力に対し、謹んで哀悼の意を表します。

校友

編 | 集 | 後 | 記 |

会報誌「校友」を今年もお届けいたします。今回は31年ぶりに神宮切符をつかんだ富山監督を、春季リーグ戦開幕直後の大阪・南港中央野球場に訪ねました。恥ずかしながら草野球でもホームランどころかヒットもろくに打てず、空振りばかりで、野球談議が出来ないのではないかと不安がよぎりましたが、むしろ「人としてあるべき姿勢」の大事さを伺い、編集委員として大いに共感を得ました。これからも熱い思いを秘めた校友の活躍ぶりを紹介したいと思います。

誌面でも紹介しました通り、母校・大阪商業大学が、建学の精神「世に役立つ人物の養成」のさらなる実践に向けて大きく「動き出した」感があります。施設の充実はもちろんのことグローバル人材の育成など、次の一手へ着々と「歩」を進めています。この会報誌が校友と母校・大阪商業大学の「今」をつなぐ一助たらんことをこれからも願っています。誌面では伝えきれない校友の動きや、消息などはぜひ事務局までお寄せ下さい。

- 「校友」編集委員会
- 発行責任者: 高岸 映治(校友会会長)
 - 編集相談役: 宇野 幸三(校友会副会長)
 - 編集委員長: 神戸 直樹(校友会常任理事)
 - 編集委員: 竹内 行弘(校友会理事)
 - 事務局: 眞鍋俊二郎(校友会理事)
 - 大学側編集委員: 吉田 充
- ご意見などお便りは下記宛にお送り下さい
- 大阪商業大学 校友会
〒577-0036 大阪府東大阪市御厨町1-7-22
電話:06-6782-7243 FAX:06-6782-6411